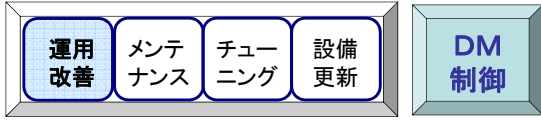


# 『コンセント・動力』編

(コンセント・動力)



## 給茶機の停止

- 給茶機を停止すれば節電できます。  
(利用頻度が少なくなる夏場は、節電活動のひとつの対策として)

### 計算例

給茶機を停止すると...  
(オフィスビル内10台分の事例)

■ 節電効果 : **節電効果 3万円/年** 【業務用電力単価を適用】  
**節電電力 約 10kW**  
**節電電力量 約 2,100kWh**

■ 対策内容 : 給茶機の停止

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力 × 対象台数  
節電電力量(kWh) = 1台当り給湯量 × 昇温する温度  
× 対象台数 × 対象日数 ÷ 860kcal/kWh

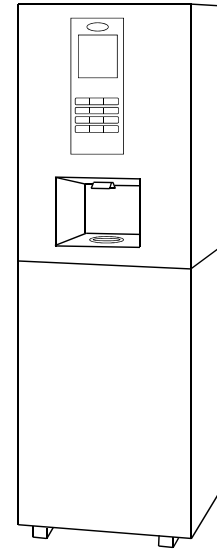
(試算条件)

消費電力: 1.0kW/台  
対象台数: 10台  
1台当り給湯量: 10ℓ/日(仮定)  
昇温する温度: 75℃ (給水温度15℃と給湯温度90℃の差)  
対象日数: 250日/年

### ポイント

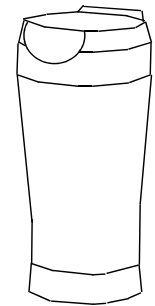
■ 停止に際して給茶機内の溜まり水の排水や、給湯再開時の水質確保等の配慮が必要です。

### 参考



給茶機  
利用

例えば...



水筒  
持参